

ASKA3Dプレートを
ご覧になりたい法人のお客様



株式会社アスカネット
東京支社・ショールーム

〒107-0062 東京都港区南青山2-2-3 南青山M-SQUARE 5F
営業時間 10:00~17:00
月~金曜日(祝祭日・夏期休暇・年末年始を除く)

※当ショールームの見学にはご予約が必要です。
※業務での利用をご検討いただく法人の方に限定して承っております。

☎ 03-6271-4831

☎ 03-6634-6738

受付時間 10:00~17:00 月~金曜日(祝祭日・夏期休暇・年末年始を除く)

ASKA3Dプレートのお見積り依頼はWEBサイトから

<https://aska3d.com>

お問い合わせ

☎ 082-850-1205

受付時間 10:00~17:00 月~金曜日(祝祭日・夏期休暇・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせ info@aska3d.com

ASKA3D

This is a real holographic



<https://aska3d.com>

※本カタログに掲載されている画像はイメージです。また、イメージ写真や説明図等は機能を説明する為のもので、実際のものとは異なります。



ASKA3D は何も無い空間に美しい映像や物体を表示します。
それは私たちが映画の中でしか見た事の無かった "未来の世界" です。

貴方が見る空中映像は VR でも脳の錯覚でもありません。
見えている映像は虚像では無く実像です。
その証拠にこの映像は虫眼鏡で拡大して見る事さえ出来ます。
ASKA3D には 2D や 3D の概念もピントの必要性も一切ありません。
プレートが 1 枚あれば、誰でも何時でも何処でも明るい場所でも
簡単に表示可能です。

最大の特徴は、 浮遊距離と驚きの解像度

過去にも多くの研究者が反射物の無い自然空中に映像を結像させるために大変多くの努力を払ってきましたが、不可能と結論付け止む無くフィルムや水蒸気にプロジェクタ投影して空中映像に錯覚をさせて来ました。しかし、それでは画面を任意に操作する事は出来ません。ASKA3D はこのように、過去には無理と思われた空中表示と操作を一気に可能としました。



カメラではその性格上プレート面と空中画像との距離感を表現することが出来ません。
是非イベントなどでその凄さを体感してください。



原理と仕組み

この技術は画像や物体の放つ光線を1枚の特殊な構造をしたガラスプレートを通させる事で、その反対側の同じ距離の位置に再び光が集まり原版と同じ像を形成する仕組みを利用しています。また、ガラス素材だけでなく樹脂による製造方法も研究中で、現在スマホ用に小型の試作品が完成しています。

結像距離と視野角



原版とプレートの距離とプレートから出て来る映像の距離は等しくなりますが、プレートのサイズにより表現できる画像のサイズや結像出来る距離が決まります。

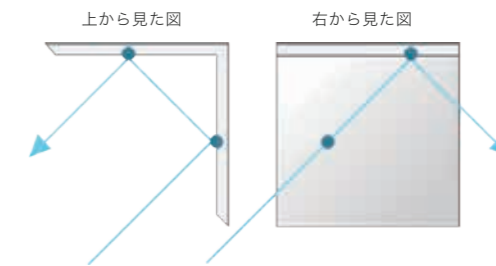
プレートサイズが小さい場合は、正面の一定の位置からしか見る事が出来ませんが、大きくなると、結像する距離を更に大きく取れる事から視野率も広がります。

Operation Principle

原理

2面直交リフレクターとは

言葉が示すとおり直交する2つの鏡が光を反射することで像を成す原理です。1度目の入射角と2度目の出射角それぞれの反射角度が等しく、結果、プレートを対象軸に1:1の空間に実像を表示します。

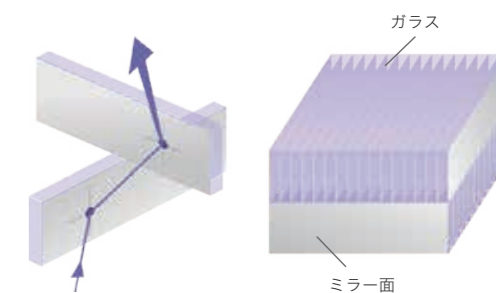


Structure

構造

Made in JAPAN たる必然

整然と配列された垂直ミラー構造。一見シンプルな2層式ミラー構造のように見えますが、数百ミクロン単位の規則的なパターン成型を達成するには、Made in JAPANの最先端製造技術が必要不可欠です。

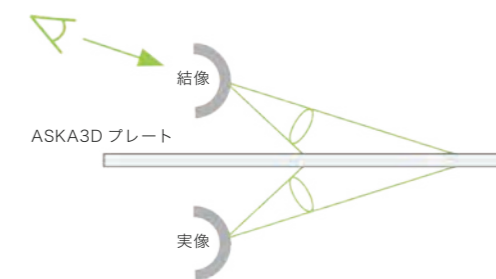


Characteristics

特徴

実像としての価値

ASKA3D プレートは従来のミスト（霧）のような目に見えない物質をスクリーンに用いたり、専用のメガネをかけて観察する必要はありません。物体から発せられる光そのものを空間に集め、集まった空間から光を拡散しています。そのことから実在する物体が放つ光を見ることと同様に空間にある映像を見ているのです。



Motion Sensors

モーショセンサ

空中の映像を操作するにはセンサーが必要です。これまで次のメーカーを使用し成功しています。

- Intel RealSense
- Leap Motion
- Sony DepthSensing Solutions
- Neonode zForce AIR Touch Sensor
- SMK Corporation TJQ0100 series

利用シーン

空中に映像を表示出来る事により、空間を利用したインパクトのあるデジタルサイネージが可能となったり、タッチしないタッチパネルとして生活のあらゆる場面に非接触の操作を可能とします。



デジタルサイネージ

電子広告の革命



作業現場

手袋でのデータ入力



車載

既にコンセプトカーに搭載始まる



アミューズメント

空間を前後にも表現可能



セキュリティー

覗き見が出来ない



飲食店

非接触で清潔



医療

大型モニターの操作パネル



ビジネス

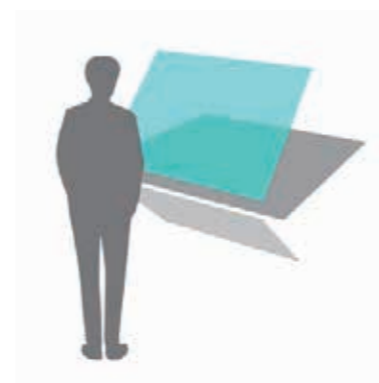
テーブルにパソコンが不要

配置の方法

ASKA3Dプレートを設置する位置によって、空中映像の見え方が変わります。



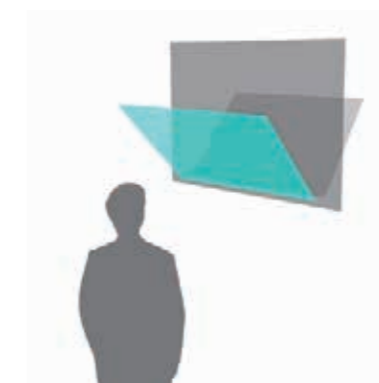
正面視



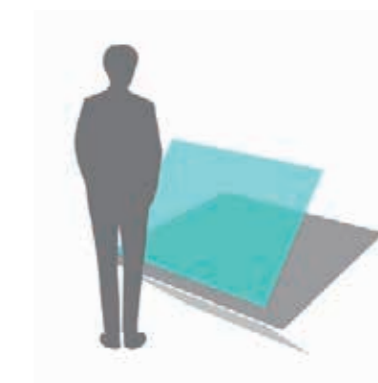
俯瞰



側面視



見上げる



床

製品

販売する商品は ASKA3D プレートのみです。1 枚から購入できます。
ASKA3D プレートを設置する為の筐体、内蔵ディスプレイ、
PC、モーションセンサー等は含まれません。

表示できる画像の大きさは、プレート面積の約 70% です。

お見積り依頼は WEB サイトから

<https://aska3d.com>

